

事業所名：	A 事業所	担当ケアマネ番号：	0001
-------	-------	-----------	------

ダイヤ高齢社会研究財団「利用者モニタリングの有効活用に関する研究」

HC-QI の評価レポート

2013 年 1 月 30 日分

担当ケアマネジャーの皆様へ

QI(質の指標)の有用性を検証するため、利用者のプラン検討にご協力をお願いします。

【手順】

1. 事業所責任者より、今回検討する QI の領域 (01.~22.) が1~2 項目選定されます。
(補足:レーダーチャートグラフで赤線の外側に飛び出した QI から選ぶ方針です)
2. ケアマネ別『個人別実測表』で、選定された QI の列を参照し、なるべく低い数値(%)の利用者を 1 名選びます。
(補足:表内の赤数字は、直近の給付実績がなく、すでに利用していない可能性があります)
3. この 1 名の状況とケアプランを確認していただきます。事業所にお渡しした[ID 番号照合表]から利用者の氏名を確認して検討を進めてください。
4. 下記の記入見本を参考に、利用者 1 名の検討結果を記入(手書きノワープロ可)下さい。
5. 今回の検討についてのアンケートにご回答ください
6. 記入済みの用紙またはファイルは、2 月末までに事業所管理者に提出をお願いします。

(レポート記入見本)

事業所名：居宅介護支援・新宿御苑センター		担当ケアマネ番号：332
利用者	研究用 ID 番号	下 4 ケタのみ記入 [6704]
	QI 項目番号	9 (ADL の悪化)
	【確認の結果】	確かに ADL 向上の可能性のある利用者であるが、本人、家族ともに今の生活に満足しており、ADL 拡大やリハビリの実施が難しいと感じていた利用者であった。
	【考えられる改善策】	機能改善の可能性についての具体的な情報提供をもう少しすべきかもしれない。そのためにも ADL のアセスメントを丁寧にし直す必要を感じた。また補助具の活用もあらためて検討する必要もある。

